



青柳園だより

令和2年
3月号
文京区立青柳幼稚園

1日1日を大切に

園長 多比良 由恵

春一番の風が吹き、園庭には4歳児もも組が種まきをしたサヤエンドウが実をつけ始めています。先般の新型コロナウイルス感染予防対策では、文京区立の小中学校では3月2日より臨時休校の措置がとられるなど、子どもたち、家庭、教育現場、地域、経済活動などに大きな影響を与えています。幼稚園では、3月2日現在、通常通りの開園を行っていますが、予防には様々な策を講じ万全の体制を整えた上で、教育活動を行っていくことが欠かせません。引き続き、保護者、地域の皆様のご理解、ご協力を賜りながら、教育活動に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。



〈畑のサヤエンドウ〉

さて幼稚園では、2月下旬、もも組・ゆり組混合で6つのグループを作り、お別れオリエンテーリングを行いました。始まりは、『みんなが遠足で食べる飴を届けようとしたあおやぎちゃんが、泥棒の罠につかまってしまった。罠を開く鍵を探しに行こう！』というものでした。『ミッションをクリアして鍵をゲットし、あおやぎちゃんを助けよう！』と、グループの仲間と一緒に、サーキット、クイズ、輪投げなど5つのミッションに取り組みました。ゆり組の子どもたちは、「こっちにおいで」「どうする？」など、もも組さんに優しく声を掛ける姿がたくさんありました。もも組の子どもたちは、そんなゆり組さんを憧れと信頼の眼差しで見つめながら、ついていきます。最後は、鍵を見つけて無事にあおやぎちゃんを救出し、飴をもって歩いて遠足に出かけた子どもたちです。急な遠足の場所変更を受け、教職員が力を合わせて、楽しい1日になるように工夫して取り組んだ活動です。きっと、子どもたちにとって忘れられない1日となったのではないのでしょうか。



「大変、あおやぎちゃんが！」



ミッション
「みんなでボール運び」



「やったー！
あおやぎちゃんを無事救出！」

今年度、保護者や地域の皆様にはたくさんのご理解、ご協力をいただき、本当にありがとうございました。1日1日を大切に過ごしていきたいと思っております。